

デザイン経営価値共創支援業務 仕様書

1 概要

様々な商品が飽和した現在では、市場には類似商品が多く出回り（商品のコモディティ化・一般化）、商品の独自の価値をユーザーに伝達できなければ、商品は売れない時代になっている。

そして、商品に独自の価値を付与し、それをユーザーに伝達する手段として「デザイン」が必要であるが、県内中小企業にはデザイン力を有する人材やデザインを生み出す土壌がない。

こうした中、和歌山県では、経営資源が限られる中小企業の付加価値を創出するために「デザイン経営」の手法を用いて、県内中小企業の企業価値・商品価値の向上、売上増加を図るための事業を実施する。

具体的には、県内企業がビジョンを更新し、コンセプトやロゴ、新商品開発などをデザインの力で一貫性をもって構築することで、魅力・価値を向上させ、その企業あるいは商品のファンを増やす取り組みを支援する。

2 目的

「デザイン経営」の手法を用いて、県内中小企業の企業価値・商品価値の向上、売上増加を図ることを目的とする。

3 業務内容

(1) シンポジウム、講座の開催

「デザイン経営」についての学びの場を提供する

①シンポジウム

デザインの活用が企業のブランディング、イノベーションに必要であり、企業価値・商品価値を向上させられることを知るためのシンポジウムを開催

参加者：100名程度

場所：和歌山市内

方法：リアル及びオンライン

その他：基調講演、パネルディスカッションを行うこと

②講座

デザイン経営の手法を学び、自社の事業やブランド、商品に取り入れるためのノウハウを習得するためのセミナーを開催（3回程度）

参加者：30名程度/回

場所：和歌山市内（リアル開催の場合）

方法：リアル、または、オンライン

(2) デザイン経営診断及びマッチング

アドバイザーやデザイナー等に対して、県内事業者が自社の現状や今後のビジョン、デザインの活用についてプレゼンテーションを実施

その後、アドバイザー等からのフィードバックやアドバイザー等への相談のための場を設置し、マッチングを促進

参加者：事業者20社程度
アドバイザー5名
デザイナー20人程度

場所：和歌山市内

方法：リアル

その他：アドバイザーはブランド、プロダクトのプロデュース経験を有し、国内外のマーケットに精通した方であることが望ましい

(3) ハンズオン支援

デザイナーと事業者の共創でデザイン経営の手法を用いて事業計画を策定
アドバイザーによるフォローアップを受けつつ、事業化のための個別支援・プロデュースを実施

デザイン経営活用のモデル事業を創出

参加者：事業者5社程度
アドバイザー5名

場所：和歌山市内、各社所在地（リアル開催の場合）

方法：リアル及びオンライン

リアル開催が望ましいが、アドバイザーによるフォローアップなどオンラインでも実施効果が期待できるものについてはその限りでない

その他：アドバイザーは(2)のデザイナーと同一であることが望ましい

(4) (1)～(3)の支援対象企業イメージ

- ①自社商品がコモディティ化し、商品の独自の価値をユーザーに伝達できていない企業
- ②OEMなどBtoB向けビジネスのみを従来行ってきたが、近年BtoC向けビジネスにも取り組んでいる（取り組もうとしている）企業で、自社ブランディングを行いたい企業
- ③事業承継を行い、新規事業など新たな取り組みをスタートさせる中で、改めて自社のビジョンやコンセプトを見直したい企業

4 業務期間

契約締結日から令和5年3月31日（金）まで

5 予算上限額

17,360千円（消費税及び地方消費税を含む。）

6 実績報告

実績報告書を電子媒体、または適した手段により業務期間内に提出すること
（提出先）

〒640-8585

和歌山県和歌山市小松原通1-1

和歌山県商工観光労働部企業政策局企業振興課 吉田

E-mail : yoshida_k0042@pref.wakayama.lg.jp

7 その他

- (1) 業務の実施にあたっては、業務内容を十分に理解し、和歌山県と連絡を密に取りながら誠実に履行すること。
- (2) 受託事業者は、業務の実施の際に、知り得た個人情報 は適正に管理し、決して漏洩、不正使用を行わないこと。本契約終了後も同様とする。
- (3) 仕様書に記載されていない事項及び疑義が生じた場合は、和歌山県と十分に協議の上、決定すること。